


	【放送日時】	2016年5月8日（日） 13:50～14:55 <総合>
	【タイトル】	水俣病の60年～終わらない 戦後最大の公害病～
	【放送番組】	・九州スペシャル「写真の中の水俣 ～胎児性患者・6000枚の軌跡～」(1991年12月12日 九州ブロック 45分) ほか
	【出演】	柳田邦男（ノンフィクション作家/評論家）
	【内容】	いまから60年前の1956年5月1日。戦後最大の公害病・水俣病が公式確認された日だ。原因企業チッソや国は対策を採らず被害は拡大。原因が確定した後も、患者として認定されない人が続出、いまでも患者の救済は終わっていない。さらに生まれながらにして水俣病を背負わざるを得なかった胎児性患者たちの高齢化も進んでいる。NHKに遺された数々の映像から60年を見つめ直し、水俣病が私たちに語りかける教訓とは何か考える。

	【放送日時】	2016年5月15日（日） 13:50～15:00 <総合>
	【タイトル】	チェルノブイリが語ること～原発事故30年の教訓～
	【放送番組】	・世界わが心の旅「チェルノブイリ・家族の肖像」 旅人 写真家 大石芳野（1994年5月15日 BS2 45分） ・クローズアップ現代「終わらない放射能汚染 チェルノブイリ20年」（2006年4月27日 総合 抜粋） ・NHKスペシャル シリーズ 廃炉への道 第1回「放射能“封じ込め”果てしなき闘い」（2014年4月20日 総合 抜粋）
	【出演】	大石芳野（写真家）、水野倫之（NHK解説委員）
	【内容】	1986年4月26日、旧ソ連のチェルノブイリ原子力発電所で史上最悪の事故が発生。大量の放射性物質が放出され住民13万人あまりが避難、影響はヨーロッパ全土に及んだ。あれから30年。いまでも原発から30キロ圏内は立ち入りが厳しく制限され終着点は見えないままだ。同じ「レベル7」とされた福島第一原発の事故から5年。節目を迎えたチェルノブイリから学び取れる教訓とは。NHKがこれまで制作した番組から考える。

	【放送日時】	2016年5月22日(日) 13:50~15:00 <総合>
	【タイトル】	厳戒 日本列島~伊勢志摩サミットを前に~
	【放送番組】	・NHK 特集「首都大厳戒~警視庁 警備部隊の素顔~」(1986年5月12日 総合 45分) ・プライムH「世界の首脳がやってくる~サミットの舞台裏すべて見せます~」(2008年7月4日 北海道ブロック 抜粋)
	【出演】	河本志朗(日本大学教授)、二村伸(NHK解説委員)
	【内容】	伊勢志摩サミットが今月26日に開かれる。パリやベルギーでテロが相次ぐなか、ISに標的として名指しされている日本にとってテロ対策は大きな課題。全国から2万人の警察官が動員される。今回で6回目となる日本開催のサミット。これまでどのような警備がなされ、どう変わってきたのか?86年の東京サミットなど過去の警備に密着した番組から、その変遷を見ていながら、テロの時代にどう向き合えばいいのか心構えを考える。

	【放送日時】	2016年5月29日(日) 13:50~14:55 <総合>
	【タイトル】	理想の音を追い求めて~富田勲さんを偲(しの)ぶ~
	【放送番組】	・NHK 特集「富田勲の世界~ドナウ川・光と星のコンサート~」(1984年11月18日 総合 49分)
	【出演】	千住明(作曲家)、松武秀樹(シンセサイザー奏者)
	【内容】	今月5日、作曲家富田勲さんが84歳で亡くなった。「新日本紀行」「ジャングル大帝」など数多くの番組のテーマ音楽を手がける一方、70年代シンセサイザーの先駆者として活躍、アルバムが米ビルボードのクラシック部門で1位を記録、世界の音楽家に影響を与えた。80年代からライフワークとなった、空と陸の立体音響で聴衆を音で包み込むというコンサート活動に密着した番組を通して、新たな音を求め続けたその人生を見つめる。